

# いの健センター&弁護士

## 切実な相談が



### アスベスト相談会 過労死110番



6月20日、高知城ホール2階で「アスベスト相談会」「過労死110番」がおこなわれました。アスベスト相談会は今回で

3度目ですが、既報(4月27日付け112号)のように相談会を契機に70年前に職場でアスベストを吸引した労働者が労災認定を勝ち取った例があり、建交労農林支部の仲間たちは、17日に事前学習もおこなってこの日を迎えました。

過労死110番には5件、アスベスト相談会には9件の相談が寄せられました。このうち過労死110番では、過労自殺関係が3件。海外の現場でサルベージ船で勤務していた労働者、四国内の自動車販売業の労働者のケースなどです。長年自動車整備にたずさわった方から相談がありまし

### 極やん奮戦記⑦

ミナハ

ゼンロウレン

こうち労働相談センター 0120-378-0600  
県労連・こうち労働相談センターに寄せられた4月の相談は34件、5月は19件、両月で53件でした。相談者は、女性23人、男性30人。相談内容は、解雇・退職強要16件がトップを占め、賃金・不払い残業11件と続き、労働時間・休暇(年休)6件、社会・雇用保険3件、労災・職業病4件、セクハラ・パワハラ2件、その他の問題10件でした。依然として解雇された労働者からの相談が後を絶ちません。解雇がらみの相談事例としては、

正社員として働いてきた女性が、会社から妊娠・出産を理由にして、「非正規社員に変える。いやなら解雇する」と言われて困っているし、納得できないので支援をしてほしいとの訴えが寄せられました。また、零細職場で働く女性からは、雇用主から廃業を理由に突然、解雇通告をされた。母子家庭なのでたちまち生活に困る。しかも雇用主が雇用保険をかけていないので失業給付も受けられない。との死活問題ともいえる深刻な相談が寄せられました。前者の雇用主は大手企業であり、後者は、零細な個人経営で、不況のもと

で廃業を余儀なくされそれに伴う解雇事件ですが、いづれも労働基準法や雇用保険法に違反する事例であり、雇用者責任を免れるものではありません。労働相談センターは、今回の2つの解雇事例(相談)について、第1に組合加入による問題解決、職安の行政指導による問題の解決方法をアドバイスしました。雇用や労働環境の悪化、働くルールが壊されているもって、県労連・労働相談センターの役割はますます重要になってきています。いっそうの不断の努力と奮闘に全力をあげていきます。

### 草の根の要求を基礎に 地域のすみずみに革新懇を



6月14日、高知県革新懇の09年度総会が人権啓発センターで開催されました。高知県革新懇は、「後期高齢者医療制度」の廃止を求めて

### 革新懇が総会

電話 088-833-2589

多くの団体に呼びかけて「廃止を求める実行委員会」を結成し、年金支給日に合わせて2ヶ月に一度の集会とデモ行進をおこなってききました。実行委員会はその後、「療養ベッドの削減反対」もスローガンに掲げ、集会には県医師会や高知市老人クラブ連合会も協賛団体に名前を連ねるという状況となっています。

また、県革新懇は、「県土の軍事化」に反対する取り組みも重視し、香南市の自衛隊問題についての街頭宣伝、議会傍聴などもおこない、現在、香南市に地域革新懇をつくるための話し合いをおこなっています。香南市では、自衛隊問題の他にも学校給食センターの統合問題(3000食程度の超マンモスセンター)もあり、「学校給食を考える会」などの地域組織をつくることも課題となっています。

総会では、「原水爆禁止世界大会に毎年カンパを集めて代表を送り、報告会も開催している。宅老所の運営にも協力している」(港南革新懇)、「郵政民営化問題学習会、病院存

続運動、消費税署名の取り組みで会員を増やした(鴨田革新懇)、「休眠していたが、市政のさまざまな問題を交流した。シンポも計画したい」(南国市)など17人が発言に立ち、議案を深めました。

総会に先立ち、全国革新懇

### 講演、マジック、うた 豊かなプログラムで好評

### 6.15 後期高齢者医療制度廃止 療養ベッド削減反対



後期高齢者医療制度廃止・療養ベッド削減反対の第10回目となる集会在6月15日、人権啓発センターで開催されました。第一部は文化行事で藤本真事さんのマジック、安芸郡教組浜田書記長の歌、退婦教坂本靖さんたち「昔の少女合唱隊」の歌を楽しみ、第2部として日本高齢者運動連絡会顧問の篠崎次男さんが、「後期高齢者医療制度廃止へ向けた私たちの課題」と題して記念講演を行いました。篠崎さんは「この制度は医療制度全体の改善の実験場。平準化という言葉で、他の保険にも改善を持ち込もうとしている」、「健保・共済家族からの保険料徴収、入院時の食と部屋代の保険外化、外来や末期医療の包括化などが狙われている」、「若者が一番の被害者という訴えが重要だ」と呼びかけました。

講演、マジック、歌と豊かなプログラムは、参加者から好評を得ました。次回は8月15日です。

### 第1回 働くもののいのちと健康を守る 中四国ブロックセミナー



■会場：高知城ホール  
〒780-0850 高知市丸の内 2-1-10 / TEL: 088-822-2035  
■日時：7月4日(土) 13:30~5日(日) 12:00  
■参加費：全日程参加 / 2,000円、1日参加 / 1,000円、交通会費 / 5,000円

7月4日(土) 13:30~16:50  
18:30~交流会  
特別報告/報告者未定  
「働くもののいのちと健康を守る運動の歴史と教訓」  
記念講演 / 「パワーハラスメント」  
講師 / 谷和仁 弁護士 (高知法律事務所)  
・・・ほかにも、実践報告など

主催 働くもののいのちと健康を守る中四国・四国ブロックセミナー実行委員会  
事務局 働くもののいのちと健康を守る高知県センター  
〒780-0850 高知市本町 5-2-3 自治会館1F 高知自治労連 TEL: 088-822-1011 / FAX: 088-822-1013  
協賛 高知県労連 働くもののいのちと健康を守る全国センター 高知県学協  
後援 高知新聞 毎日新聞高知支局 読売新聞高知支局 RKC高知放送 KUTVテレビ高知  
KSSさんさんテレビ エフエム高知 高知シティFM放送 高知朝

高知で初めて開催されます！  
誘い合って参加しましょう！